

にほんご
日本語105 Handout Week 02

Tomonori Nagano <tnagano@lagcc.cuny.edu>
<http://faculty.lagcc.cuny.edu/tnagano/>

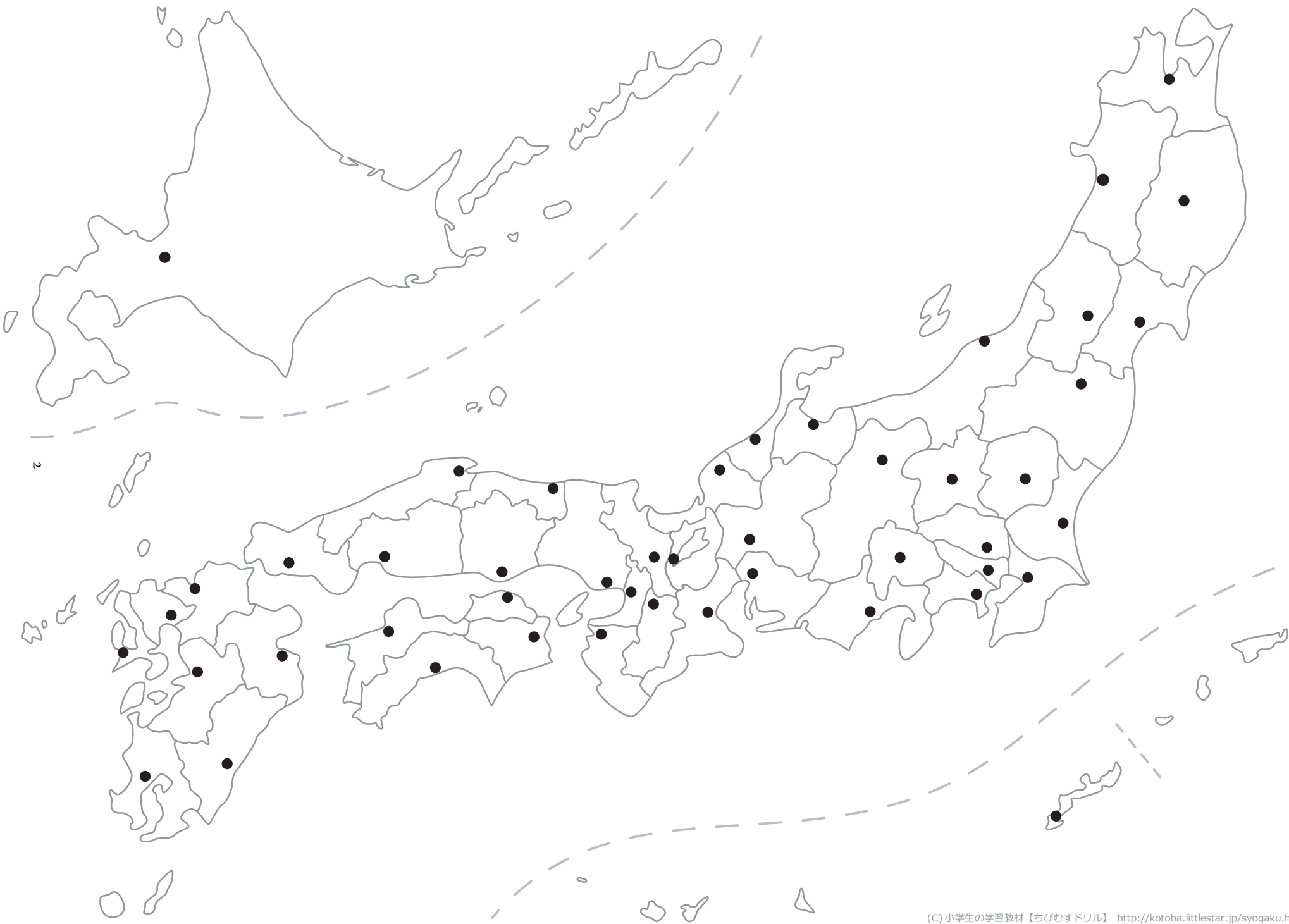
Spring 2019

日本の都道府県 (1 都 1 道 2 府 43 県)

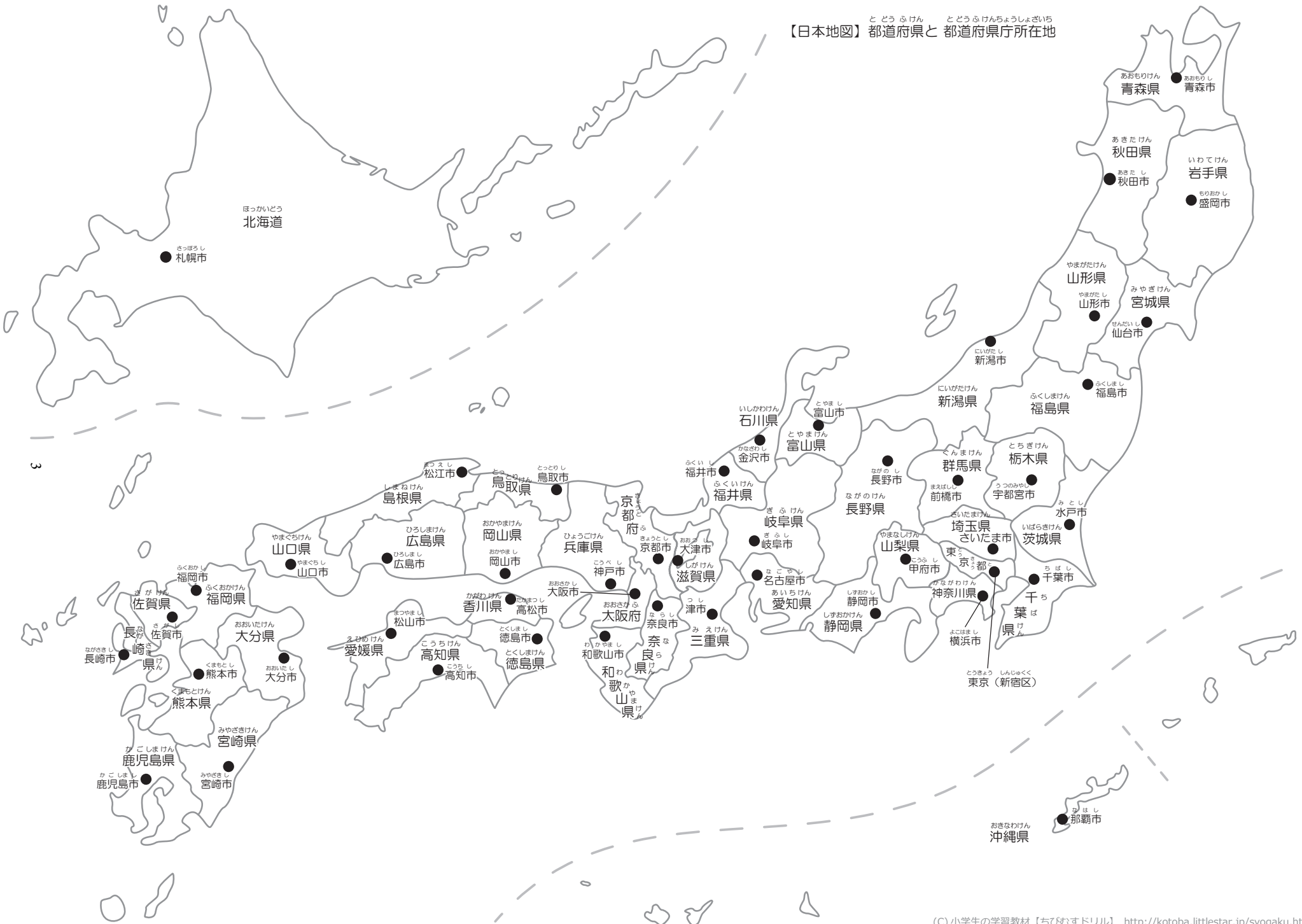
- | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) 北海道
ほっかいどう
あおもり | (10) 群馬
ぐんま
さいたま | (20) 長野
ながの
ぎふ | (29) 奈良
なら
わかやま | (39) 高知
こうち
ふくおか |
| (2) 青森
あおもり
いわて | (11) 埼玉
さいたま
ちば | (21) 岐阜
ぎふ
しずおか | (30) 和歌山
わかやま
とっとり | (40) 福岡
ふくおか
さが |
| (3) 岩手
いわて
みやぎ | (12) 千葉
ちば
とうきょう | (22) 静岡
しずおか
あいち | (31) 鳥取
とり
しまね | (41) 佐賀
さが
ながさき |
| (4) 宮城
みやぎ
あきた | (13) 東京
とうきょう
かながわ | (23) 愛知
あいち
みえ | (32) 島根
しまね
おかやま | (42) 長崎
ながさき
くまもと |
| (5) 秋田
あきた
やまがた | (14) 神奈川
かながわ
にいがた | (24) 三重
みえ
しが | (33) 岡山
おかやま
ひろしま | (43) 熊本
くまもと
おおいた |
| (6) 山形
やまがた
ふくしま | (15) 新潟
にいがた
とやま | (25) 滋賀
しが
きょうと | (34) 広島
ひろしま
やまぐち | (44) 大分
おおいた
みやぎ |
| (7) 福島
ふくしま
いばらき | (16) 富山
とやま
いしかわ | (26) 京都
きょうと
おおさか | (35) 山口
やまぐち
とくしま | (45) 宮崎
みやぎ
かごしま |
| (8) 茨城
いばらき
とちぎ | (17) 石川
いしかわ
ふくい | (27) 大阪
おおさか
ひょうご | (36) 徳島
とくしま
かがわ | (46) 鹿児島
かごしま
おきなわ |
| (9) 栃木
とちぎ
やまなし | (18) 福井
ふくい
やまなし | (28) 兵庫
ひょうご
えひめ | (37) 香川
かがわ
えひめ | (47) 沖縄
おきなわ |
| | (19) 山梨
やまなし | | (38) 愛媛
えひめ | |

けんちようしよざいち
日本の県庁所在地(randomized)

- | | | | | |
|------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|
| (1) 岐阜市
ぎふ
なは | (11) 名古屋
なごや
ぎやう | (20) 山形市
やまがた
ふくおか | (30) 広島市
ひろしま
さいたま | (40) 長野市
ながの
みと |
| (2) 那覇市
なは
くまもと | (12) 札幌市
さっぽろ
まえばし | (21) 福岡市
ふくおか
しずおか | (31) さいたま市
さいたま
ふくしま | (41) 水戸市
みと
とっとり |
| (3) 熊本市
くまもと
ふくい | (13) 前橋市
まえばし
あおもり | (22) 静岡市
しずおか
まつやま | (32) 福島市
ふくしま
しんじゆく | (42) 鳥取市
とり
おおいた |
| (4) 福井市
ふくい
とやま | (14) 青森市
あおもり
かながわ | (23) 松山市
まつやま
うつのみや | (33) 新宿区
しんじゆく
とくしま | (43) 盛岡市
もりおか
きょうと |
| (5) 富山市
とやま
つ | (15) 金沢市
かながわ
こうふ | (24) 宇都宮市
うつのみや
あきた | (34) 徳島市
とくしま
さが | (44) 京都市
きょうと
まつえ |
| (6) 津市
つ
たかまつ | (16) 甲府市
こうふ
こうち | (25) 秋田市
あきた
おおつ | (35) 佐賀市
さが
かごしま | (45) 松江市
まつえ
やまぐち |
| (7) 高松市
たかまつ
こうべ | (17) 高知市
こうち
ちば | (26) 大津市
おおつ
せんだい | (36) 鹿児島市
かごしま
おおさか | (46) 山口市
やまぐち
ながさき |
| (8) 神戸市
こうべ
にいがた | (18) 千葉市
ちば
おおいた | (27) 仙台市
せんだい
なら | (37) 大阪市
おおさか
わかやま | (47) 長崎市
ながさき |
| (9) 新潟市
にいがた
みやぎ | (19) 大分市
おおいた
みやぎ | (28) 奈良市
なら
おかやま | (38) 和歌山市
わかやま
よこはま | |
| (10) 宮崎市
みやぎ | | (29) 岡山市
おかやま | (39) 横浜市
よこはま | |



【日本地図】都道府県と 都道府県庁所在地



日本ほど祭りの多い国も珍しい。各地に根付いた伝統的な祭りから、近年、民間で始められた「^{*ゆかた}浴衣祭り」や「温泉祭り」まで、多彩な祭りがあって、毎日、日本のどこかで祭りが行われていると言っても言いすぎではない。

もともと日本の祭りは、農耕儀礼に由来する農村の春の豊作祈願祭や秋の収穫祭が中心で、その後これに、悪霊、疫病を払うための都市の夏祭りが加わった。いずれも神々をもてなして、祭りの担い手である、その土地の居住者の繁栄と結束を願うものだったが、江戸時代以降、しだいに形骸^{けいがい}化し、祭りは日々の暮らしに区切りをつける一種のレクリエーションとなった。昭和、とりわけ戦後に入ってからはその意味合いさえ薄れて、すっかり観光化した祭りも少なくない。数ある祭りの中から有名なものをいくつか紹介すると――

・青森・^{*ねぶた}祭り 8月1日の夜から7日にかけて行われる青森の夏の風物詩。木や竹の骨組みに紙を張り、これに『三国志』の英雄や^{*かたて}加藤清正のトラ退治などの勇壮な絵を書いて作った、縦横数メートルの灯籠^{とうろう}が、何台も町々を練り歩き、最後にその灯籠を海に渡して祭りは終わる。「ねぶた流し」と言っても、眠気を払って、祖先の霊を慰める盆を迎えるための祭りである。

・東京・^{*さんじや}三社祭り 江戸の町に夏の到来を告げる浅草神社の例祭。5月17、18日に町内から数十体の^{*みこし}みこしが練り出し、^{*びんざ}びんざさらと呼ばれる古い楽器を鳴らしてにぎやかに踊る「びんざさら舞」という珍しい舞いが奉納される。下町情緒あふれる庶民の祭りだ。

・京都・^{*ぎん}祇園祭り 京都には、「賀茂の競馬^{*くらべうま}」や「葵祭り^{*あおい}」など、古都ならではののみやびやかな祭りが多いが、最も豪華なのが、7月1日から一か月間も行われる「祇園祭り^{ほこ}」だ。なかでも15、16日の宵山^{しょう}は庄巻で、散在する鉦^{ほこ}から祇園ばやしの鉦の音が流れ、鉦町^{しょう}一带は不夜城となる。

・福岡・博多どんたく 5月3、4日に行われる民間の港祭り。^{*しゃもじ}しゃもじを叩きながら歌う博多松ばやしや、仮装行列で、全市が一大歓楽境と化する。

こうした日本の代表的な祭りには、観光をかねた見物客が全国から集まり、数百万人の人出となる。外国人観光客も年々多くなっている。

Japanese Festivals

Japan is a land of festivals. Not only are there numerous festivals based on age-old traditions, there are also many newer theme festivals such as *yukata** festivals, and hardly a day passes without some sort of festival somewhere.

Japanese festivals originally centered on agrarian rituals such as spring prayers for bountiful rice crops and autumn harvest celebrations. These were later joined by the urban summer festivals for driving away evil spirits and plagues. All of these festivals were intended to placate the gods and ensure the community's continuing solidarity and prosperity, and it was not until the *Edo* period that festivals began to be popularized as diversions from everyday life. In recent decades, and especially since the end of the war, festivals have grown even more devoid of meaning, and many now exist mainly as tourist attractions.

・**Nebuta Festival*** (*Aomori*) This celebration of summer takes place from the evening of August 1 through August 7. Enormous floats depicting famous warrior-heroes from ancient China* or famous Japanese *samurai* such as *Katou Kiyomasa** are lit from within so that they glow as they are paraded throughout the city and, at the end of the festival, set adrift on the sea. This closing ceremony, called *nebuta-nagashi*, symbolizes the dispelling of sleep in order to usher in the *bon* season when ancestral spirits are welcomed and entertained.

・**Sanja Matsuri*** (*Toukyou* (Tokyo)) This festival began as a parade to herald the arrival of summer. Every May 17-18, scores of *mikoshi** are carried through the streets to *Asakusa Shrine*, accompanied by *binzasara** percussion instruments which set the beat for a wild dance called *Binzasara no Mai*. Held in the traditionally working-class *shitamachi* part of *Toukyou*, the *Sanja Matsuri* has a very plebeian mood.

・**Gion Festival*** (*Kyouto* (Kyoto)) *Kyouto*, the nation's capital for many centuries, hosts a large number of traditional festivals, among them the *Kamo no Kurabeuma** and the *Aoi Matsuri**, but grandest of them all is the *Gion Festival* which begins on July 1 and lasts throughout the month. The highlight of the *Gion Festival* is on July 15 and 16, when floats with *gion-bayashi* musicians playing bells and other instruments light up the nighttime streets.

・**Hakata Dontaku*** (*Fukuoka*) The *Hakata Dontaku* festival is held in *Fukuoka* on May 3 and 4 every year. Featuring singers beating rice paddles* as well as a procession of numerous people wearing colorful costumes, *Hakata Dontaku* makes the whole city of *Fukuoka* come alive with merriment.

These major festivals draw millions of participants and spectators from all over the country—and increasingly large numbers of non-Japanese tourists as well.